

## 夏休み明け集会での話

34日間の夏休みも終わり、いよいよ今日からまた、学校が始まります。1学期の後半がはじまります。みんなが大きな事故もなく元気に登校できたことは、当たり前のことですが、大切な事であり、先生方もとてもうれしく思っています。

さて、夏休み明けは、とても過ごしやすい気候となつて、勉強や運動に絶好の季節となります。勉強や運動、行事をとおして、友だちとの思い出がたくさんできる学期でもあります。ですから、校長先生は、これからが実りのある一番楽しい時期だと思っています。

この1学期後半を楽しい学期にするためには・・・という事で、今日は、皆さんに『自分から進んで行う』という事を、キーワードとして、話をします。

毎日の生活の中で、「担任の先生に言われてから行動する」、「先生に言われてから掃除をする」、「家の人に言われてから宿題をする」、このように、人に言われてから行動するのでは、みんながもっている本当の力・よさは出せません。

「どうせ するんだったら・・・」、「どうせ やらなければ ならないんだったら・・・」、何事も『自分から進んで』動いた方がよいということです。そのほうが、楽しくできるし、頑張りがきき、自分で「頑張った」という充実感も味わえるのです。

「自分から進んで行う」ということを意識するかしないかで、取組や結果が大きく違ってくるはずです。「今までの自分」に「新しい自分」をプラスするために、自分から動いてみて下さい。ただし、「自分から進んで行う」ということと「何でも勝手にやっていい」というのは全く違うということは覚えていて下さいね。

おとといは、仙台育英高校が夏の甲子園野球大会で、宮城県はもちろん東北にはじめて優勝旗をもたらしました。ヒーローインタビューで佐藤主将は、「いろいろあったけど、最後の大会で仲間とうれし涙を流せてうれしい」、斎藤投手は「みんなのおかげで勝てたよ」と選手にはなることができなかったものの、共に戦ったスタンドの部員に手を振りました。二人ともスポーツや学校生活をとおして、人間としても確かな成長を感じさせる受け答えでした。

まとめです。自分から進んで行動し自分を成長させる、そしてお互いを思いやり、それぞれが安心して楽しい学校生活を送る、その結果自分も仲間も共に成長する……。

そんな夏休み明け、そんな1学期後半になることを期待しています。

令和4年8月24日 気仙沼中学校 校長 斎藤博厚